

平成21年度第1四半期再資源化預託金等特別会計収支計算書(案)の説明書

平成21年4月1日から平成21年6月30日まで

資料3-2

*百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値とは一致しない。

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	96万台	486万台	20%	118万台	△22万台	81%
引取時預託(後付預託を除く)	3万台	18万台	19%	13万台	△10万台	25%
合計(A)	100万台	504万台	20%	132万台	△32万台	76%
引取時預託(後付預託のみ)(B)	5万台	16万台	28%	6万台	△1万台	81%
預託台数合計(A)+(B)	104万台	520万台	20%	137万台	△33万台	76%

(2) 品目別の平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)

	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,450円	6,410円	40円	6,450円	0円
エアバッグ類	2,500円	2,470円	30円	2,470円	30円
フロン類	2,060円	2,060円	0円	2,070円	△10円
合計	11,010円	10,940円	70円	10,990円	20円

(3) 品目別の装備率

	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
エアバッグ類	94%	95%	△1	89%	5
フロン類	97%	97%	0	93%	4

(4) 金額

	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	10,860百万円	54,539百万円	20%	14,026百万円	△3,166百万円	77%

情報管理預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	96万台	486万台	20%	118万台	△22万台	81%
引取時預託	3万台	18万台	19%	13万台	△10万台	25%
合計	100万台	504万台	20%	132万台	△32万台	76%

(2) 金額

	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	229百万円	1,159百万円	20%	303百万円	△74百万円	76%

預託金預り収入計

金額

	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	11,089百万円	55,698百万円	20%	14,329百万円	△3,240百万円	77%

【予算との比較】

○新車購入時預託台数の第1四半期の対年間予算想定台数進捗率は前年度までの預託実績を参考に23%としていたが、実績は20%となり、台数実績は予算想定を下回った。
○引取時預託台数(後付預託を除く)の第1四半期の対年間予算想定台数進捗率は前年度預託実績等を参考に27%としていたが、引取業者引取台数に対する引取時預託台数(後付預託を除く)の比率が予算想定を下回ったことにより(第1四半期実績4%、年間予算想定5%)、実績は19%となり、台数実績は予算想定を下回った。
以上を要因として、再資源化等預託金預り収入の進捗率は、第1四半期の対年間予算想定進捗率23%を下回る20%となった。

【前年度同期実績との比較】

○新車購入時預託
新車購入時預託台数は、前年度同期実績を下回った。
○引取時預託(後付預託を除く)
引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている(=引取時預託台数の比率が低下している。)。このため、引取時預託台数(後付預託を除く)は、前年度同期実績を下回った。
以上を要因として、再資源化等預託金預り収入は前年度同期実績を下回った。

《第1四半期における預託方法別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車を除いたもの)》

	平成21年度1Q決算		平成21年度年間予算		平成20年度1Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
ASR	6,470円	5,850円	6,440円	5,800円	6,540円	5,720円
エアバッグ類	2,510円	2,100円	2,470円	2,160円	2,480円	2,020円
フロン類	2,060円	2,110円	2,060円	2,100円	2,070円	2,100円
合計	11,040円	10,060円	10,970円	10,060円	11,090円	9,840円

《第1四半期における預託方法別の装備率》

	平成21年度1Q決算		平成21年度年間予算		平成20年度1Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	97%	27%	97%	42%	97%	16%
フロン類	99%	34%	99%	28%	99%	39%

【予算との比較】

同上。

【前年度同期実績との比較】

同上。

②特定資産運用収入—再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
2,549百万円	10,403百万円	25%	2,323百万円	226百万円	110%

【予算との比較】

予算想定のとおり。

【前年度同期実績との比較】

保有債券残高の積み上がりにより特定資産運用収入は前年度同期実績を上回った。

《保有債券残高実績》

平成21年度1Q末残高	平成20年度1Q末残高
7,839億円	7,588億円

2. 事業活動支出

①預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1)品目別の払渡台数

	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	87万台	360万台	24%	100万台	△13万台	87%
エアバッグ類	40万台	186万台	22%	33万台	7万台	120%
フロン類	76万台	303万台	25%	80万台	△5万台	94%

(2)品目別の平均単価

	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,230円	6,270円	△40円	6,070円	160円
エアバッグ類	2,040円	2,100円	△60円	1,940円	100円
フロン類	2,090円	2,090円	0円	2,090円	0円

(3)金額

平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
7,837百万円	32,809百万円	24%	8,414百万円	△577百万円	93%

《引取業者引取台数実績》

平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
93万台	360万台	26%	105万台	△13万台	88%

【予算との比較】

各品目の払渡台数の第1四半期の対年間予算想定台数進捗率は、前年度払渡実績等を参考にASR26%、エアバッグ類25%、フロン類26%としていたが、引取業者引取台数の第1四半期の対年間予算想定台数進捗率27%に対し実績は26%となったため、各品目の実績はASR24%、エアバッグ類22%、フロン類25%となり、台数実績は予算想定を下回った。このため、再資源化等預託金払渡支出の進捗率は、第1四半期の対年間予算想定進捗率26%を下回る24%となった。

【前年度同期実績との比較】

引取業者引取台数が前年度同期実績を下回ったため、主としてASR及びフロン類の払渡台数が前年度同期実績を下回ったことにより、再資源化等預託金払渡支出は前年度同期実績を下回った。(なお、エアバッグ類の払渡台数は、引取業者引取台数におけるエアバッグ類の装備率が上昇していることから、前年度同期実績を上回った。)

《引取業者引取台数におけるエアバッグ類・フロン類の装備率実績》

	平成21年度1Q	平成20年度1Q
エアバッグ類	43%	33%
フロン類	81%	76%

情報管理預託金払渡支出

(1)台数

平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
94万台	360万台	26%	109万台	△15万台	86%

(2)金額

平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
149百万円	590百万円	25%	193百万円	△44百万円	77%

【予算との比較】

○払渡台数の第1四半期の対年間予算想定台数進捗率は、前年度払渡実績等を参考に28%としていたが、引取業者引取台数が予算想定を下回ったこと等により、実績は26%となり、台数実績は予算想定を下回った。
○単価230円の払渡台数の比率が予算想定を下回った。
以上を要因として、情報管理預託金払渡支出の進捗率は、第1四半期の対年間予算想定進捗率28%を下回る25%となった。

【前年度同期実績との比較】

○引取業者引取台数が前年度同期実績を下回ったため、払渡台数は前年度同期実績を下回った。
○単価230円の払渡台数の比率が前年度同期実績を下回った。
以上を要因として、情報管理預託金払渡支出は前年度同期実績を下回った。

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	平成21年度1Q				平成20年度1Q	
	決算		年間予算		決算	
	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率
130円	67万台	72%	238万台	66%	59万台	53%
230円	27万台	28%	122万台	34%	51万台	47%
合計	94万台	100%	360万台	100%	109万台	100%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
270百万円	1,106百万円	24%	175百万円	95百万円	155%

【予算との比較】

未払再資源化預託金等利息支払支出の第1四半期の対年間予算想定進捗率は、前年度払渡実績等を参考に26%としていたが、引取業者引取台数が予算想定を下回ったこと等により、利息を付す払渡台数が予算想定を下回ったため、実績は24%となり、未払再資源化預託金等利息支払支出は予算想定を下回った。

【前年度同期実績との比較】

平成21年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成20年度よりも高いため、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率
適用利率	平成21年度払渡 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%
	平成20年度払渡 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	—

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金払込支出計

金額

平成21年度1Q			平成20年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
8,256百万円	34,505百万円	24%	8,782百万円	△526百万円	94%

②預託金輸出返還支

再資源化預託金等輸出返還支

(1)台数

平成21年度1Q			平成20年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
22万台	118万台	19%	34万台	△12万台	64%

(2)平均単価

平成21年度1Q			平成20年度1Q	決算対前年度差異
決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)	決算(c)	(a)-(c)
10,730円	10,920円	△190円	10,710円	20円

(3)金額

平成21年度1Q			平成20年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
2,377百万円	12,922百万円	18%	3,686百万円	△1,309百万円	64%

未払再資源化預託金等利息支払支

金額

平成21年度1Q			平成20年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
61百万円	439百万円	14%	59百万円	2百万円	103%

【予算との比較】

○輸出返還台数の第1四半期の対年間予算想定台数進捗率は前年度輸出返還実績等を参考に24%としていたが、実績は19%となり、台数実績は予算想定を下回った。
○輸出返還平均単価は予算想定を下回った。
以上を要因として、再資源化預託金等輸出返還支の進捗率は、第1四半期の対年間予算想定進捗率24%を下回る18%となった。

【前年度同期実績との比較】

輸出返還台数が前年度同期実績を下回ったため、再資源化預託金等輸出返還支は前年度同期実績を下回った。

《参考》輸出返還台数実績

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成21年度	22万台				22万台
平成20年度	34万台	37万台	38万台	35万台	144万台

【予算との比較】

○未払再資源化預託金等利息支払支の第1四半期の対年間予算想定進捗率は、前年度輸出返還実績等を参考に24%としていたが、輸出返還台数が予算想定を下回ったこと等により、実績は14%となり、利息を付す輸出返還台数は予算想定を下回った。
○利息の平均単価は予算想定を下回った。
以上を要因として、未払再資源化預託金等利息支払支の進捗率は第1四半期の対年間予算想定進捗率24%を下回る14%となった。

《参考1》第1四半期における利息が付される輸出返還台数の実績

預託年度	平成21年度1Q		
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)
平成16年度	3万台	15万台	23%
平成17年度	10万台	62万台	16%
平成18年度	7万台	34万台	22%
平成19年度	0.8万台	4万台	20%
平成20年度	0.4万台	1万台	38%
合計	22万台	117万台	19%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。
(※)年間予算において平成21年度に預託された自動車の輸出返還は1万台と想定。
なお、当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

《参考2》第1四半期における利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績

	平成21年度1Q		
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)
利息単価	274円	375円	73%

【前年度同期実績との比較】

平成21年度の未払再資源化預託金等利息支払支に適用される利率が平成20年度よりも高いため、未払再資源化預託金等利息支払支は前年度同期実績を上回った。

	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率
適用利率	平成21年度輸出返還 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%
	平成20年度輸出返還 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	—

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金輸出返還支計

金額

平成21年度1Q			平成20年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
2,438百万円	13,361百万円	18%	3,745百万円	△1,307百万円	65%

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	184百万円	184百万円	100%		303百万円	△120百万円

(当初予算)
(190百万円)

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	6百万円	6百万円	100%		7百万円	△0百万円

(当初予算)
(-)

他会計への繰入金支出計

金額	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	190百万円	190百万円	100%		310百万円	△120百万円

《出えん実績》

出えん先	出えん額(※)	
	平成21年度1Q	平成20年度1Q
指定再資源化機関	160百万円	70百万円
情報管理センター	30百万円	240百万円
合計	190百万円	310百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

(なお、会計規程第14条の規定に基づき、「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」の当初予算190百万円のうち、6百万円を「未払再資源化預託金等利息支払支出」の予算へ流用した。)

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入—再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	11,257百万円	48,259百万円	23%		12,673百万円	△1,416百万円

【予算との比較】

特定資産取崩収入の第1四半期の対年間予算想定進捗率は、事業活動支出の予算想定から26%としていたが、事業活動支出が予算想定を下回ったため、実績は23%となり、事業活動支出の原資となる特定資産取崩収入は予算想定を下回った。

【前年度同期実績との比較】

事業活動支出が前年度同期実績を下回ったため、事業活動支出の原資となる特定資産取崩収入は前年度同期実績を下回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出—再資源化預託金等特定資産組入支出

金額	平成21年度1Q			平成20年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	15,235百万円	66,213百万円	23%		19,597百万円	△4,363百万円

【予算との比較】

特定資産取得支出の第1四半期の対年間予算想定進捗率は、預託金預り収入等の予算想定から28%としていたが、主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が予算想定を下回ったため、実績は23%となり、特定資産取得支出は予算想定を下回った。

【前年度同期実績との比較】

主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が前年度同期実績を下回ったため、特定資産取得支出は前年度同期実績を下回った。